

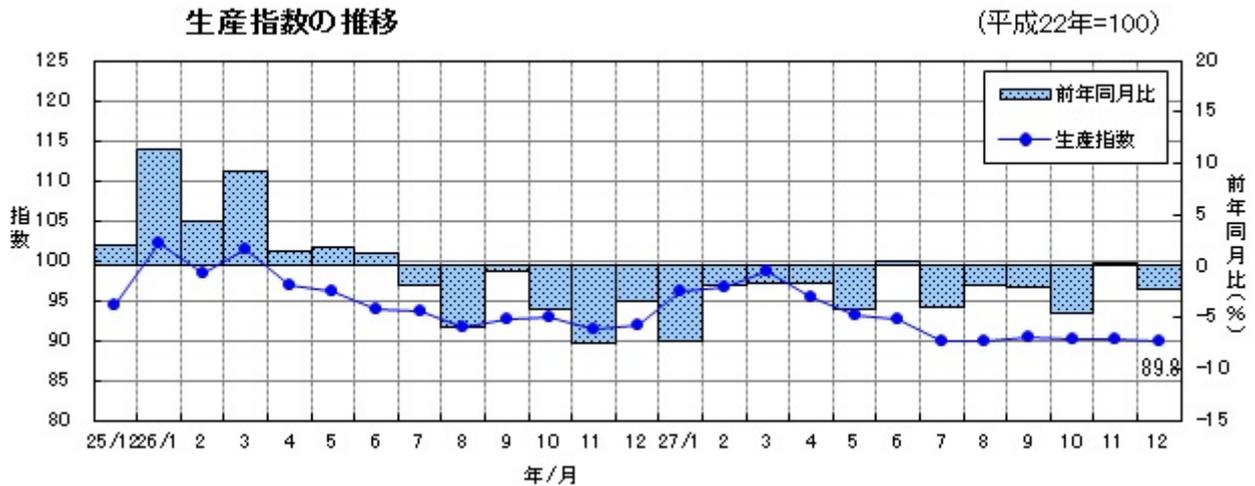
生産の前月比は横ばい、平成 27 年指数は前年比 2.5%減 (静岡県鉱工業指数 平成 27 年 12 月分速報・平成 27 年速報)

1 生産指数の動き

平成 27 年 12 月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成 22 年=100）は **89.8** となり、前月比は **0.4%減**と 2 か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は **2.3%減**と 2 か月ぶりに前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、食料品・たばこ、化学、窯業・土石製品等が上昇する一方、電気機械、輸送機械、電子部品・デバイス等が低下した。

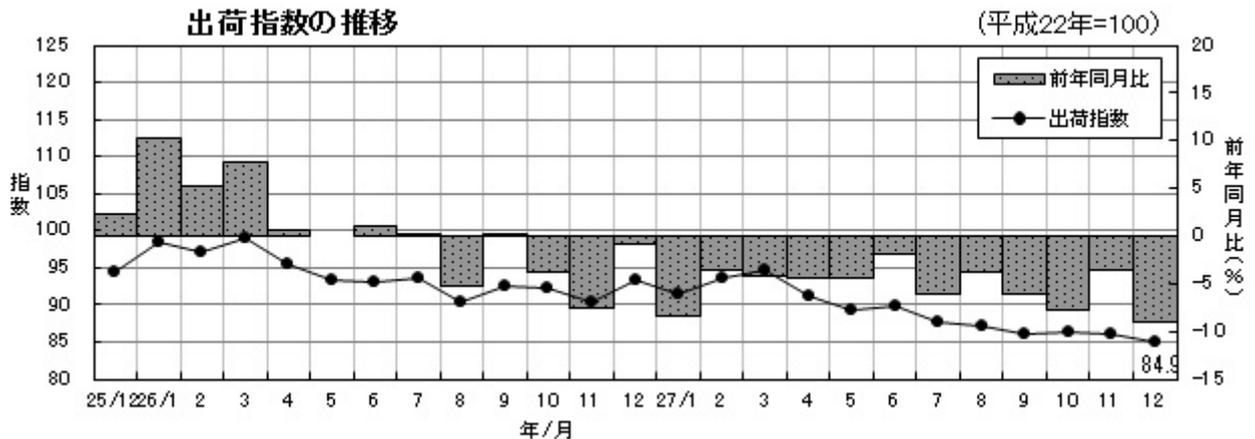


2 出荷指数の動き

平成 27 年 12 月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成 22 年=100）は **84.9** となり、前月比は **1.3%減**と 2 か月連続して低下した。

また、前年同月比（原指数）は **9.1%減**と 15 か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、金属製品、化学等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、非鉄金属等が低下した。

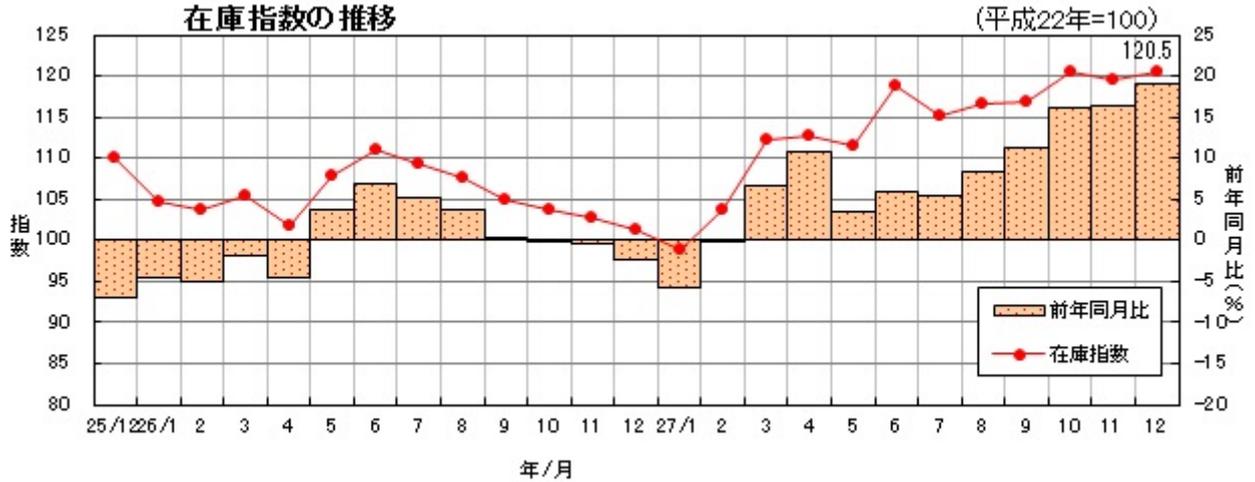


3 在庫指数の動き

平成 27 年 12 月の鉱工業**在庫指数**（季節調整済：平成 22 年=100）は **120.5** となり、**前月比**は **0.8%増**と **2 か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比**（原指数）は **18.9%増**と **10 か月連続して前年を上回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、窯業・土石製品、化学、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、輸送機械、非鉄金属、食料品・たばこ等が低下した。



4 平成 27 年速報

今回で平成 27 年 12 月分の速報値まで出揃ったため、平成 27 年指数（速報）をまとめた。

基準年（平成 22 年）からの推移を見ると、本県、全国とも生産及び出荷は減少、在庫は増加傾向で、生産指数は 92.8（前年比 2.5%減）となっている。

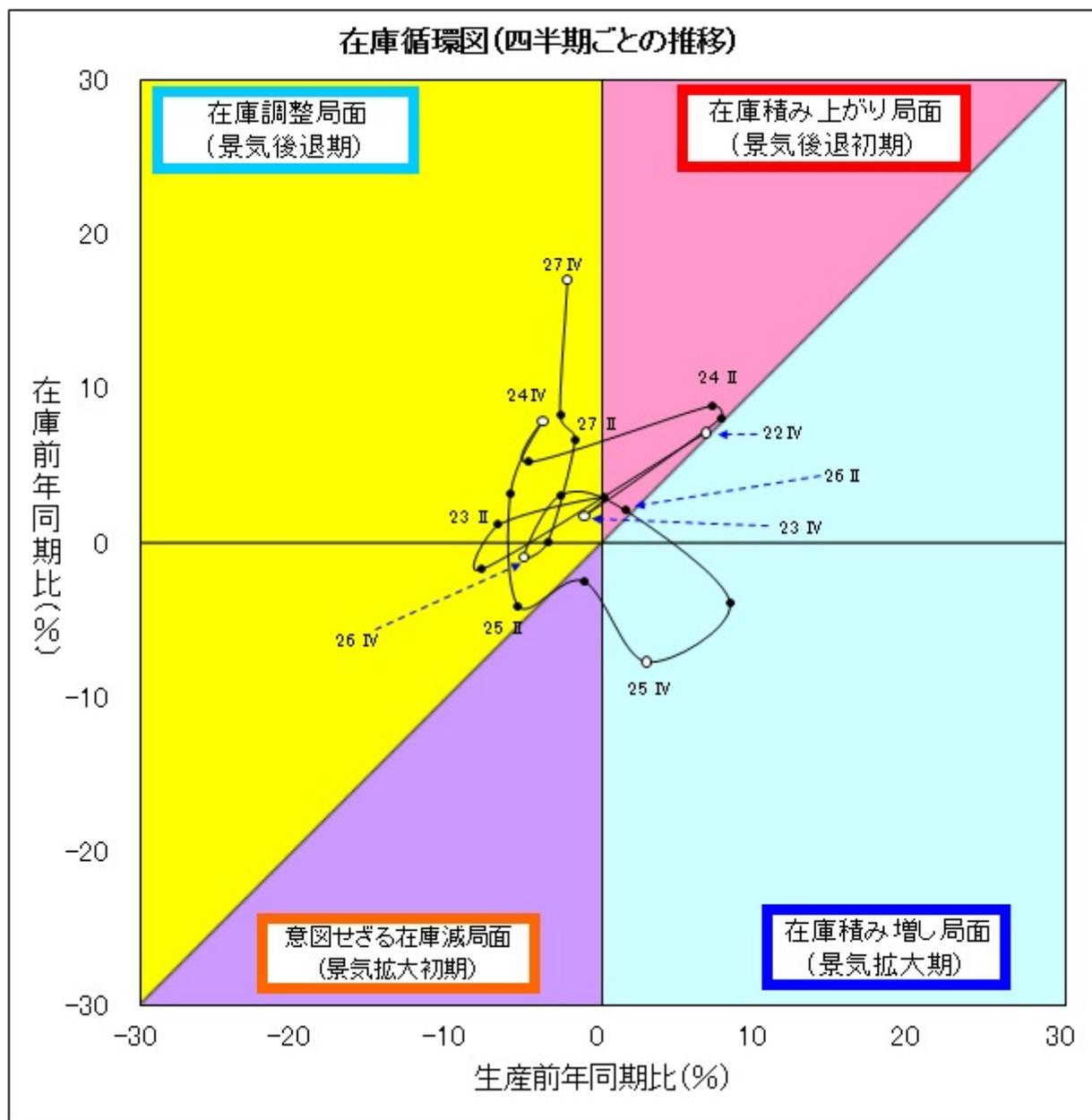
鉱工業指数の年次推移

(原指数:平成22年=100)

	生 産		出 荷		在 庫	
	静岡県	全 国	静岡県	全 国	静岡県	全 国
平成22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	-	-	-	-	-	-
23年	96.1	97.2	95.7	96.3	101.0	104.3
	(△3.9)	(△2.8)	(△4.3)	(△3.7)	(1.0)	(4.3)
24年	97.4	97.8	97.2	97.5	108.5	110.4
	(1.4)	(0.6)	(1.6)	(1.2)	(7.4)	(5.8)
25年	94.9	97.0	93.6	96.9	105.3	107.4
	(△2.6)	(△0.8)	(△3.7)	(△0.6)	(△2.9)	(△2.7)
26年	95.2	99.0	94.1	98.2	105.4	109.5
	(0.3)	(2.1)	(0.5)	(1.3)	(0.1)	(2.0)
27年	92.8	98.2	89.2	97.2	113.8	113.0
	(△2.5)	(△0.8)	(△5.2)	(△1.0)	(8.0)	(3.2)

下段()内は前年比(%)

<参考>在庫循環図



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。